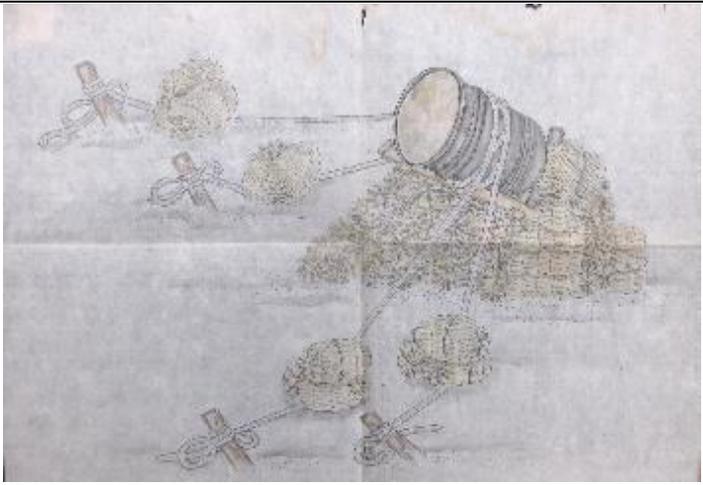


資料名	古文書 増木家（幕府鉄砲方）52 [大筒偽装絵図]
	
解説	<p>寺の釣り鐘を、大筒に見せかけた様子を描いた図です。江戸時代後半に増えてくる異国船に対して、少しでも多くの大筒を所持しているように見せるために置かれたものだと考えられます。</p> <p>授業では、この資料が何に見えるか考えさせた後に、当時の外国との関係に関わる資料を提示することで、大筒の偽装をせざるを得ないほどの国内情勢であったことを理解させることにつながります。</p>
資料が生かせる 教科・単元等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校社会科 6年 黒船の来航</li> <li>・中学校社会科歴史的分野 明治維新と近代国家の形成</li> <li>・高等学校 歴史総合 結び付く世界と日本の開国、日本史探究 近代への転換と歴史的環境</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代後期の海上防衛に関する絵図資料については、増木家55、61、378等を御参照ください。</li> </ul>
閲覧時の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複写本で閲覧可能。原資料を閲覧希望の方は、事前又は閲覧時にお問い合わせください。</li> <li>・複写は写真撮影のみ可。</li> </ul>

学校の授業での資料活用に関するお問い合わせは、県立文書館・学校等支援担当者へお問い合わせください（048-865-0112）